

神の川ヒュッテ通信 第102号

発行日 平成30年 9月 1日
 発行者 神ノ川ヒュッテ代表 杉本 憲昭
 相模原市緑区小淵1545-1
 北丹沢山岳センター内
 TEL042-687-4011 FAX042-687-3980

神ノ川ヒュッテ25周年を記念し

四氏へ感謝状を贈呈しました

神ノ川ヒュッテは2018年で管理25周年を迎えました。今年4月15日の北丹沢山開きに合わせ、長年に亘りボランティア活動に貢献戴いた方々に感謝の気持ちを込めて感謝状を贈らせていただきました。皆様いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願い致します。

……… お名前 ……
 原 孝 氏 大貫 成一 氏

市川 博文 氏 加藤 博恵 氏



神ノ川ヒュッテの奥地神ノ川広河原での草刈と

シカ柵修理ボランティア募集中です

今年も11月18日(日)に実施いたします。前日17日(土)は前泊可能です。宿泊をご希望の方は一泊2,000円になります。スケジュールは午前8時に神ノ川ヒュッテに集合し、自動車数台に分乗して広河原に向かいます。13時過ぎに作業終了し、神ノ川ヒュッテへ戻り参加者全員にカレーライス(昼食)を提供し懇親会を開催します。午後3時にはお開きとなります。皆様のご参加をお待ちしております。ご参加いただける方は北丹沢山岳センター宛にメールまたはファックスをお願い致します。

● お問い合わせ ●
 北丹沢山岳センター
 TEL 042-687-6863 FAX 042-687-3980
 MAIL: kitatanzawa@kib.biglobe.ne.jp



裏丹沢遭難捜索報告書

株式会社 マウンテンワークス

捜索日 2018年4月26日～28日
 捜索人員 26日:3名、28日:2名、28日:4名
 捜索箇所 26日:源蔵尾根～檜洞丸～ヤタ尾根
 27日:源蔵尾根～彦右衛門沢～金山沢～標高846m～広河原
 28日:地藏尾根～地藏平～絵瀬尾根上部
 地藏尾根～標高1159m～仏谷小谷へ下降

26日
 源蔵尾根の捜索依頼にて広河原登山口から源蔵尾根の捜索を開始した。このルートは、登りでは迷い込みや滑落の可能性は低いが、下りで使用した場合、迷い込む箇所が多く、沢に迷い込んだ可能性が考えられた。また丹沢主稜線より、ドローンにて源蔵尾根の両側の沢筋を捜索したが、遭難者の手掛かりになるものは確認出来なかった。蛭ヶ岳に至るルートの一つであるヤタ尾根を辿るが、よく整備されており、滑落や道迷いの可能性は低いと判断した。翌27日、源蔵尾根を下りに使用した際の道迷いを考え、両側の沢筋を辿ることにした。

27日
 源蔵尾根の迷い込みポイントから、トレースを辿り、両側の沢筋を捜索。彦右衛門沢へはトレースやテープの印があるが、標高1070m地点で大滝となり、これ以上遭難者が沢筋を辿る可能性は無いと判断した。源蔵尾根へ戻り、尾根東側からの迷い込みポイントから金山沢へのトレースを辿った。1240mからの破線ルートは稜線が鹿柵で歩けない状態で、標高1100mで藪になり前進困難となった。トラバースし標高1244m手前のコルからの道迷いを想定し、金山沢を辿るが手掛かり無し。さらに標高846mピークへ登り上げ、そこからの破線ルートを広河原へ辿るが、手掛かりになるものは無かった。尚、同日金山沢下流へ釣り師が入渓しているが、手掛かりとなる情報は得られなかった。源蔵尾根からの道迷いによる遭難の可能性は低いと考えた。

27日 遭難者ご家族、ご友人からの情報収集
 捜索範囲を狭めるため、遭難者のお父様とご友人から情報収集を行い、地藏尾根での遭難の可能性が高いと考えた。27日に警察より地藏尾根捜索が行われ、尾根両側の沢への滑落の可能性は高く、絵瀬尾根への迷い込みの可能性もあるとの情報を得た。地藏尾根からの滑落の場合は、北側の岩水沢と南側の仏谷小谷へ、絵瀬尾根に迷い込んだ場合は伊瀬沢に滑落する可能性があった。第一に地藏尾根からの滑落を考え、翌28日、地藏尾根両側の沢を捜索することにした。

28日
 地藏尾根を登り滑落ポイントや道迷いポイント確認後、標高1150mから二隊に分かれ、一隊は仏谷小谷を捜索、一隊は地藏尾根上部の絵瀬尾根への迷い込みポイント確認と岩水沢の捜索を開始。地藏平にて遭難者生存発見の連絡あり、捜査終了となった。地藏尾根の標高1250m付近は、尾根が太く地形が複雑であり、絵瀬尾根を歩く者も稀にいるため、トレースやテープが付いていた。地藏尾根から容易に迷い込みやすい場所であった。



参考資料: 地藏尾根の標高1250m付近の絵瀬尾根迷い込みポイント



上: 絵瀬尾根へ導くように見える黄色テープあり。

